



やせ薬に手を出すことの危険性について

「リベルサス」
「マンジャロ」
「フォシーガ」
「オゼンピック」 など

「マンジャロ」など
良いやせ薬があるよ!!

まさか、手を出そうとしてませんよね…

薬物ダイエット ダメ 絶対

なぜ絶対ダメなのか？

「薬でやせる」ということは、薬で体の正常な仕組みを無理やり操作したり、自身の体に過剰な負荷をかけたりする行為です。その代償として貧血、低血圧、骨密度低下、代謝異常、肝炎、女性では月経不順や無月経などが生じて、生涯にわたって健康に影響が及ぶことがあります。また、やせた後もその状態を保とうと薬を使い続け、依存してしまうリスクもあります。

やせるためには、正しいダイエット方法である「適度な運動と適量でバランスの良い食事」を両方同時に行うことが大切です！（運動だけ、食事制限だけはダメ）

最近ネットでよく見かける「マンジャロ」「リベルサス」などは、本来は糖尿病の治療薬ですが、脳が刺激されて満腹状態になる“副作用”を利用しているのです。満腹状態となるため食事量が減り、栄養不足になります。つまり「食べないダイエット」と同じ状態になります。

「食べないダイエット」は安全だと思いますか？

参考：マンジャロ®皮下注アテオス、オゼンピック®皮下注、リベルサス®錠、フォシーガ®錠 各添付文書

健康やお薬などについて、気になることがある方は、相談薬局・出張相談会で薬剤師に気軽にお尋ねください。

《 出張相談会 — 保健室に学校薬剤師が来ます — 》
ドラッグレターの内容、医薬品や健康、薬物乱用などについて、相談・聞きたいことがある人は保健室まで！
7月7日(火) 12時35分～13時20分

作成・発行元 北陸大学薬学部
教授 大柳賀津夫(学校薬剤師)
准教授 岡本晃典(薬剤師)
5年生 奥村桃花 中野加愛

